

国際機関における地方創生をめぐる議論

OECD 地域開発政策委員会だより

(7) 市長と閣僚の円卓会議

< 「市長と閣僚の円卓会議」結果概要（国交省発表資料） >

日程：2019年3月19日(火)

場所：ギリシヤ・アテネメガロン国際会議センター

全体テーマ：「市長、閣僚、メガトレンド～共同の取り組みのための原則～」

参加者：世界各国の首長数十名(*)及び閣僚級会合参加者

*日本からは富山市(森市長)、福岡市(高島市長)が出席

議題

1. オープニング (9:00～10:00)

ヨルゴス・カミニスアテネ市長、ヤニス・ドラガサキスギリシヤ副首相兼経済開発大臣、アンヘル・グリア OECD 事務総長より開会挨拶があった。

2. 「政府のレベルを超えた都市政策の共同立案(9:30～10:30)

メガトレンドに備えた都市政策の構築のため、国と地方がいかに共同で政策立案できるかについて議論を行った。由木国土交通審議官より、公共交通を軸としたコンパクトシティ政策を通じて高齢化社会に対応している富山市に対し、国も財政面で支援を行っていること、また、福岡市が国家戦略特区制度を活用して外国人創業者の在留資格や建築物の高さ制限等の規制緩和を実現し、スタートアップ起業の創出や誘致に取り組んでいることを紹介し、日本が国と地方の連携により持続可能な都市の実現に取り組んでいる旨発言した。

3. 「国と地方の都市政策の橋渡しの手段」(10:30～11:30)

能力・資金等の確保や、都市政策の実行のため、国と地方がいかに協働できるかについて議論を行った。

4. 「今後の道を描く～OECD 都市政策の原則のためのアクションプラン～」(11:30～12:00)

「都市政策に関する原則案」に関し、それを実行する方策について議論を行った。